**いとうせいこう×奥泉 光**

**＜文芸漫談シーズン６＞**

**ウィリアム・フォークナー『八月の光』を読んでみる**

この企画は、いとうせいこうと奥泉光が、小説の面白さを、笑いを取りながら伝えたいと、漫談形式で始めた文学ライブです。

芥川賞作家と稀代の仕掛人が捨て身でおくる、漫談スタイルの超ブンガク実践講座。

*小説の書き方・読み方がクスクスわかる？かも！*



2006年5月から年3回のシリーズで始まったこの会は、お客様に支えられながら15年間続いてきました。コロナ禍で2年間は自粛しておりましたが、昨年の4月より再開し、今回はその52回目です。会場は新宿文化センター小ホールです。

内容、構成はいたってシンプルで、作家・クリエーターとして活躍する“いとうせいこう”と、芥川賞作家であり大学教授の“奥泉光”が、名作と言われる文学作品を笑いを取り入れながら紐解いて行く漫談形式のトークショー（文芸漫談）です。

同類のトークショーのように、作品への理解を与えることにこそ違いはないのですが、そこに、博学がユーモアをまとったような二人の『笑い』が入ることにより、お客さまの興味をより深いところまで誘い、“豊かな文学”になるのでは、との試みです。

今回の「八月の光」は、お腹の子の父親を追って旅する女、肌は白いが黒人の血を引いているという労働者、支離滅裂な言動から辞職を余儀なくされた牧師......。

米国南部の町ジェファソンで、過去に呪われたように生きる人々の生は、一連の壮絶な事件へと収斂(しゅうれん)していく......。

ノーベル賞受賞作家の代表的作品。
何だ、それなら知っているよ！と、言われる方も、二人の手にかかると、こんな読み方もあったのかと納得いただけるものと思いますよ！

出演■**いとうせいこう／奥泉 光**

日時■**2023年4月21日（金）19：00開場／19：30開演**

料金■全席自由席　前売・予約☆2,500円／当日☆3,000円

会場■新宿文化センター小ホール（☎ 03-3350-1141）新宿区新宿6-14-1

　　　　　　東京メトロ副都心線／都営大江戸線「東新宿駅」A3出口より徒歩5分

ﾁｹｯﾄ問合せ■Ｋ・企画　（TEL＆FAX 03-3419-6318）

　　　　　　　HP < http://www.k-kikaku1996.com/work/bunman/index.html>

　　　　　■イープラス　< https://eplus.jp/>

　　　　　■チケットぴあ　Pコード：649833　< https://t.pia.jp/>

■カルテット予約フォーム

　　　　　　　https://www.quartet-online.net/ticket/bunman-52

主催■舞台よろず相談所 Ｋ・企画

**『八月の光』梗概**

南北戦争に敗れたアメリカ南部。

物質的近代化が進む一方で、奴隷制など古い価値観の転換を強(し)いられた結果、時に人々のアイデンティティや信仰に混乱が生じ、人種差別主義も先鋭化した。

本作は、そんな時代に苦悩する人々の心情を、新しい文学的手法によって詳細かつ重層的に記述することで、人間の普遍的問題を暴き出した傑作である。

物語は、お腹の子の父親を追って旅する女、肌は白いが黒人の血を引いているという労働者、支離滅裂な言動から辞職を余儀なくされた牧師......。

米国南部の町ジェファソンで、過去に呪われたように生きる人々の生は、一連の壮絶な事件へと収斂(しゅうれん)していく......。

ノーベル賞受賞作家の代表的作品。

**ウィリアム・フォークナー　＜1897年～1962年＞**

アメリカ合衆国の小説家。

ミシシッピ州に生まれ、生涯のほとんどを同州オックスフォードで過ごす。

第一次世界大戦に志願するも戦地に赴くことはかなわず、その後ミシシッピ大学に入学。

1年で退学した後、ニューオーリンズでシャーウッド・アンダスンの知己を得て、長篇小説に専心。

『響きと怒り』『サンクチュアリ』『八月の光』『アブサロム、アブサロム!』など、ヨクナパトーファ郡ジェファソンという架空の町を舞台とした作品群が1940年代に再評価され、世界的名声を確立した。

1950年、ノーベル文学賞受賞。

**出演者紹介**

**【いとうせいこう】**

1961年、東京生まれ。早稲田大学法学部卒業。作家、クリエーター。

『ノーライフキング』で小説家としてデビュー。最新小説に『小説禁止令に賛同する』。主な作品に『想像ラジオ』『存在しない小説』『鼻に挟み撃ち他三編』。

ノンフィクション･対談集に『国境なき医師団を見に行く』『ラブという薬』『今夜、笑いの数を数えましょう』などがある。

その他、舞台・音楽・テレビなどで活躍中。

公式HP＝http://www.cubeinc.co.jp/ito/

**【奥泉 光】**

1956年、山形生まれ。国際基督教大学大学院修了。小説家･近畿大学教授。

『石の来歴』で芥川賞、『東京自叙伝』で谷崎賞、最新刊の『雪の階』では柴田錬三郎賞を受賞。

主な小説に『虫樹音楽集』『シューマンの指』『神器　軍艦「橿原」殺人事件』『グランド･ミステリー』など。

いとうせいこうとの共著に『文学の聖典』『世界文学は面白い｡』がある。

公式HP＝http://www.okuizumi.com/

**＜お願い！＞**

※コロナ感染予防のため、ご来場の際は必ずマスクを着用してください。

　また、受付にて検温をさせていただきますが、37.5度以上の場合はご入場できませんの

で、あらかじめご了承ください。